



# 特 集 農業改良版

## 土地整備と畜産に重点

### 三十六年度農業振興策

本年は農業振興策の中心として、土地の整備と畜産の振興に重点を置く。土地の整備については、農地改良、水利施設の整備、農道の拡充などを実施する。畜産については、優良品種の導入、飼料の増産、防疫体制の強化などを実施する。また、農業の機械化を促進し、生産性の向上を図る。さらに、農業従事者の生活向上を図るため、農村整備事業を実施する。以上が、三十六年度の農業振興策の重点である。

## 施肥法に問題を残す 耕うん機とイナ作

農家の施肥法は、耕うん機とイナ作の普及に伴って、問題を残している。耕うん機は、土壌を深く耕すことができるが、肥料の散布が不均一になりやすい。イナ作は、肥料の散布が均一になるが、土壌の改良効果が低い。また、イナ作は、農家の労働負担を増加させる。これらの問題を解決するためには、施肥機の改良や、イナ作の改良が必要である。また、農家の施肥技術の向上を図る必要がある。



## かキメテが苗作りと降雪 有利な改良苗代で

降雪と苗作りが、かキメテが苗作りと降雪に有利な改良苗代で。降雪は、苗の生育を遅らせるが、同時に土壌の保温効果もある。苗作りは、苗の生育を早めるが、同時に土壌の乾燥を防ぐ効果もある。改良苗代は、降雪と苗作りの両方の利点を活かすことができる。改良苗代は、苗の生育を早め、かつ降雪による被害を防ぐことができる。改良苗代は、農家の労働負担を軽減させる。改良苗代は、農家の収入を増加させる。改良苗代は、農家の生活を向上させる。改良苗代は、農家の未来を明るくする。改良苗代は、農家の希望を実現させる。改良苗代は、農家の夢を叶える。改良苗代は、農家の人生を豊かにする。改良苗代は、農家の未来を輝かせる。改良苗代は、農家の人生を輝かせる。改良苗代は、農家の未来を輝かせる。改良苗代は、農家の人生を輝かせる。

別表(1) 主なる苗代別育苗適期表

育苗期	出た苗の育苗適期	育苗適期
早播	4月15日～4月25日	4月15日～4月25日
中播	4月25日～5月5日	4月25日～5月5日
遅播	5月5日～5月15日	5月5日～5月15日
最遅播	5月15日～5月25日	5月15日～5月25日

育苗の適期は、気候や品種によって異なる。早播は、苗の生育を早めることができるが、降雪による被害を受ける可能性がある。中播は、苗の生育を早めることができるが、降雪による被害を受ける可能性がある。遅播は、苗の生育を早めることができるが、降雪による被害を受ける可能性がある。最遅播は、苗の生育を早めることができるが、降雪による被害を受ける可能性がある。育苗の適期は、気候や品種によって異なる。早播は、苗の生育を早めることができるが、降雪による被害を受ける可能性がある。中播は、苗の生育を早めることができるが、降雪による被害を受ける可能性がある。遅播は、苗の生育を早めることができるが、降雪による被害を受ける可能性がある。最遅播は、苗の生育を早めることができるが、降雪による被害を受ける可能性がある。育苗の適期は、気候や品種によって異なる。早播は、苗の生育を早めることができるが、降雪による被害を受ける可能性がある。中播は、苗の生育を早めることができるが、降雪による被害を受ける可能性がある。遅播は、苗の生育を早めることができるが、降雪による被害を受ける可能性がある。最遅播は、苗の生育を早めることができるが、降雪による被害を受ける可能性がある。

育苗の適期は、気候や品種によって異なる。早播は、苗の生育を早めることができるが、降雪による被害を受ける可能性がある。中播は、苗の生育を早めることができるが、降雪による被害を受ける可能性がある。遅播は、苗の生育を早めることができるが、降雪による被害を受ける可能性がある。最遅播は、苗の生育を早めることができるが、降雪による被害を受ける可能性がある。育苗の適期は、気候や品種によって異なる。早播は、苗の生育を早めることができるが、降雪による被害を受ける可能性がある。中播は、苗の生育を早めることができるが、降雪による被害を受ける可能性がある。遅播は、苗の生育を早めることができるが、降雪による被害を受ける可能性がある。最遅播は、苗の生育を早めることができるが、降雪による被害を受ける可能性がある。育苗の適期は、気候や品種によって異なる。早播は、苗の生育を早めることができるが、降雪による被害を受ける可能性がある。中播は、苗の生育を早めることができるが、降雪による被害を受ける可能性がある。遅播は、苗の生育を早めることができるが、降雪による被害を受ける可能性がある。最遅播は、苗の生育を早めることができるが、降雪による被害を受ける可能性がある。

育苗の適期は、気候や品種によって異なる。早播は、苗の生育を早めることができるが、降雪による被害を受ける可能性がある。中播は、苗の生育を早めることができるが、降雪による被害を受ける可能性がある。遅播は、苗の生育を早めることができるが、降雪による被害を受ける可能性がある。最遅播は、苗の生育を早めることができるが、降雪による被害を受ける可能性がある。育苗の適期は、気候や品種によって異なる。早播は、苗の生育を早めることができるが、降雪による被害を受ける可能性がある。中播は、苗の生育を早めることができるが、降雪による被害を受ける可能性がある。遅播は、苗の生育を早めることができるが、降雪による被害を受ける可能性がある。最遅播は、苗の生育を早めることができるが、降雪による被害を受ける可能性がある。育苗の適期は、気候や品種によって異なる。早播は、苗の生育を早めることができるが、降雪による被害を受ける可能性がある。中播は、苗の生育を早めることができるが、降雪による被害を受ける可能性がある。遅播は、苗の生育を早めることができるが、降雪による被害を受ける可能性がある。最遅播は、苗の生育を早めることができるが、降雪による被害を受ける可能性がある。

育苗の適期は、気候や品種によって異なる。早播は、苗の生育を早めることができるが、降雪による被害を受ける可能性がある。中播は、苗の生育を早めることができるが、降雪による被害を受ける可能性がある。遅播は、苗の生育を早めることができるが、降雪による被害を受ける可能性がある。最遅播は、苗の生育を早めることができるが、降雪による被害を受ける可能性がある。育苗の適期は、気候や品種によって異なる。早播は、苗の生育を早めることができるが、降雪による被害を受ける可能性がある。中播は、苗の生育を早めることができるが、降雪による被害を受ける可能性がある。遅播は、苗の生育を早めることができるが、降雪による被害を受ける可能性がある。最遅播は、苗の生育を早めることができるが、降雪による被害を受ける可能性がある。育苗の適期は、気候や品種によって異なる。早播は、苗の生育を早めることができるが、降雪による被害を受ける可能性がある。中播は、苗の生育を早めることができるが、降雪による被害を受ける可能性がある。遅播は、苗の生育を早めることができるが、降雪による被害を受ける可能性がある。最遅播は、苗の生育を早めることができるが、降雪による被害を受ける可能性がある。

別表(2) 苗代作業計画例(秋田県)

作業	時期	備考
田作	4月15日～4月25日	
育苗	4月25日～5月5日	
移植	5月5日～5月15日	
追肥	5月15日～5月25日	
除草	5月25日～6月5日	
収穫	6月5日～6月15日	

育苗の適期は、気候や品種によって異なる。早播は、苗の生育を早めることができるが、降雪による被害を受ける可能性がある。中播は、苗の生育を早めることができるが、降雪による被害を受ける可能性がある。遅播は、苗の生育を早めることができるが、降雪による被害を受ける可能性がある。最遅播は、苗の生育を早めることができるが、降雪による被害を受ける可能性がある。育苗の適期は、気候や品種によって異なる。早播は、苗の生育を早めることができるが、降雪による被害を受ける可能性がある。中播は、苗の生育を早めることができるが、降雪による被害を受ける可能性がある。遅播は、苗の生育を早めることができるが、降雪による被害を受ける可能性がある。最遅播は、苗の生育を早めることができるが、降雪による被害を受ける可能性がある。



### 農業経済シリーズ(1)

農業は、我が国の生命線である。戦後、農業は復興の基盤として、重要な地位を占めている。このシリーズを通じて、農業の現状と将来について、詳しく解説する。

### 農業基本法はなぜ

「農業基本法」とは、農業の発展と農民の生活向上を目的として制定された法律である。その重要性は、農業が国家の経済と社会に与える影響の大きさから見て、明らかである。

### 飼料作物の栽培

#### これからの要請

戦後、食糧増産と畜産の発展を促すため、飼料作物の栽培が重視されている。特に、大豆、小麦、とうもろこしなどの飼料作物の生産が、農業政策の重要な柱となっている。

品名	単位	生産額
大豆	100kg	7.5
小麦	100kg	1.9
とうもろこし	100kg	1.5
雑穀	100kg	2.2
野菜	100kg	2.2
果物	100kg	2.2
畜産物	100kg	1.5
漁業物	100kg	1.5

上記の表は、主要な農産物の生産状況を示している。大豆と小麦は、飼料作物として特に重要な役割を果たしている。

農業の発展には、適切な政策と技術の導入が不可欠である。政府は、農業の現代化と生産性の向上を促進するために、様々な支援策を実施している。

農業は、持続可能な発展を実現するための重要な鍵である。環境に配慮した農業の推進と、農村地域の活性化が、今後の課題となっている。

農業政策の透明性と説明責任の確保が、農業関係者の信頼を得るための鍵である。政府は、政策の効果を定期的に評価し、必要に応じて調整を行うべきである。

農業の発展は、国民の生活の安定と国家の繁栄に不可欠である。農業関係者の協力と政府の支援が、農業の明るい未来を築くための鍵となる。

農業政策の成功は、農業関係者の努力と政府の適切な支援に依存している。農業関係者は、政策の効果を最大化するために、積極的に参加し、協力する必要がある。

### 野菜畑の準備と管理

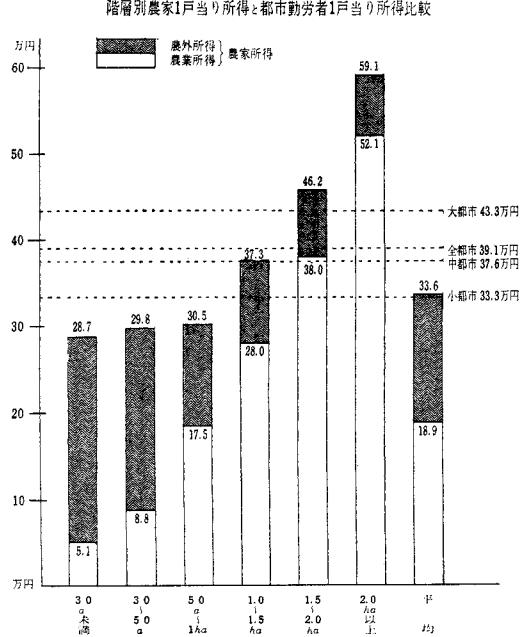
肥料	100㎡あたり
窒素	10.0
リン	3.0
カリ	3.0
有機質	12.0

野菜畑の準備には、適切な肥料の施用が不可欠である。上記の表は、野菜畑に最適な肥料の量を示している。

作物名	100㎡あたり
大根	4.0
白菜	3.0
キャベツ	1.5
青じょうろ	1.0

野菜畑の管理には、定期的な水やりと雑草取りが重要である。また、病害虫の発生を予防するための対策も必要である。

野菜畑の準備と管理は、野菜の収穫量と品質に大きな影響を与える。適切な準備と管理により、高品質な野菜の収穫が可能となる。



# 進む事務の機械化

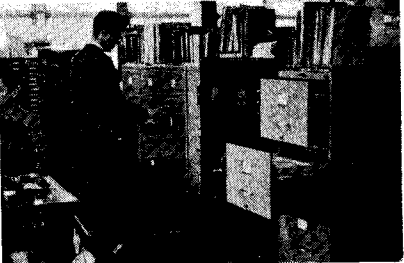
## スピーデイなサービスへ



事務の機械化は、最近、驚くべきスピードで進んでいる。従来、事務作業には、鉛筆と紙が主だったが、今は、電卓、計算機、タイプライター、複写機、そして最新の電子計算機などが、事務の効率を飛躍的に向上させている。これによって、従来よりも短時間で正確な結果を得ることができ、サービスの向上に大きく貢献している。

## 旧軍人恩給の加算

旧軍人恩給の加算に関する事項が、最近、変更された。これにより、従来よりも多くの加算を受けられるようになった。これは、旧軍人の生活安定と福祉向上に大きく貢献している。具体的には、加算の対象となる期間が拡大され、加算の率も引き上げられた。これにより、旧軍人の生活が大幅に改善された。



写真説明 (上) 加算機電動計算機 (中) ビジブルレコーダー (下) ファイリングキャビネット

## 雪おれの木は放置 しないよう

雪おれの木は、放置してはいけない。雪が積もると、木が倒れる危険がある。また、雪が積もると、木の成長も阻害される。そのため、雪が積もったら、早めに雪を落とす必要がある。これは、木の健康と安全のためである。

## 心の季節

心の季節が訪れる。春は希望と夢の季節である。この季節には、新しい目標を設定し、それに向かって努力することが大切である。また、心を開き、他人とコミュニケーションをとることが、心の成長に大きく貢献している。

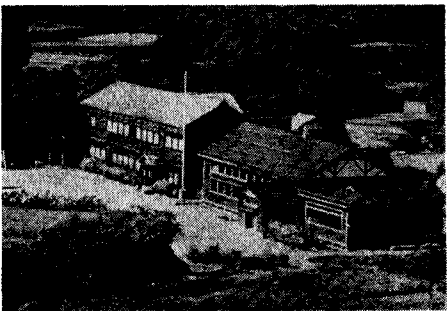


## かたが

かたが。これは、日本の文化の一つである。かたがは、日本人の心を象徴している。かたがは、日本人の美意識と精神性を表現している。また、かたがは、日本人の生活様式と価値観を反映している。

## 深い思考力、強い行 動力をめざして

深い思考力と強い行動力。これらは、成功のための重要な要素である。深い思考力を持つことで、問題を正確に分析し、適切な解決策を見つけることができる。また、強い行動力を持つことで、目標に向かって果敢と勇気を持って取り組むことができる。



八箇小学校

## ◎ 旧軍人恩給の加算

地域	加算の内容	多相属	
		1ヶ月	2ヶ月
支那(除く満州)	加算	12.7.7	16.5.1
	減算	16.4.30	20.9.1
	加算	19.3.31	23.8.31
満州(地域により異なる)	加算	10.9.1	13.12.31
	減算	15.4.1	17.8.14
	加算	20.9.20	23.8.14
インド	加算	14.5.1	17.8.14
	減算	17.9.16	20.8.14
	加算	19.3.31	23.8.31
仏印	加算	15.9.23	16.5.1
	減算	16.4.30	20.9.2
南洋、英領、インド洋	加算	16.12.8	17.8.14
	減算	18.5.13	20.9.2
千島	加算	18.9.10	19.3.31
	減算	20.4.29	22.8.14
琉球	加算	19.10.20	20.9.2
	減算	20.4.29	22.8.14

(注) 台湾、朝鮮、関東州、樺太、南洋群島1ヶ月に付0.5月但し軍人は1ヶ年警察隊員等3年、その他公務員は4年間引換きその地に勤務した場合に附す。